

平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 テクノクオーツ株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 千葉 喜 夫
 (JASDAQ コード番号 5217)
 専務取締役
 問 い 合 わ せ 先 管 理 本 部 長 岡 本 克 巳
 (TEL03-5354-8171)
 当社の親会社 ジーエルサイエンス株式会社
 代 表 者 取締役社長 森 憲 司
 (東証第2部 コード番号 7705)

(修正・数値データ修正有)修正後発事象の発生に伴う
 「平成21年3月期第3四半期決算短信」の修正について

平成 21 年 2 月 9 日に公表いたしました「平成 21 年 3 月 期 第 3 四 半 期 決 算 短 信」について、下記理由により修正することといたしました。

記

(修正理由)

当社は、平成 21 年 2 月 12 日に公表いたしました「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」に記載のとおり、取引先である Spansion Japan 株式会社 が平成 21 年 2 月 10 日付で東京地方裁判所に対し会社更生手続開始の申立てを行ったことから、同社に対する債権について、取立不能又は取立遅延のおそれが生じており、これが修正後発事象に該当するため、平成 21 年 3 月 期 第 3 四 半 期 決 算 短 信 に 反 映 さ せ る こ と と し た も の で す。具体的には同社向け売掛債権 13 百万円に対し、全額貸倒引当金を計上し、財務計数を修正するものです。

(修正内容)(修正箇所の下線を引いております)

(1) 1 頁「1. 平成 21 年 3 月 期 第 3 四 半 期 の 連 結 業 績 (1) 連 結 経 営 成 績 (累 計)」の 21 年 3 月 期 第 3 四 半 期 欄

【修正前】		【修正後】	
営業利益	<u>△60 百万円</u>	営業利益	<u>△74 百万円</u>
経常利益	<u>△104 百万円</u>	経常利益	<u>△118 百万円</u>
四半期純利益	<u>△460 百万円</u>	四半期純利益	<u>△474 百万円</u>
1 株当たり四半期純利益	<u>△59 円 29 銭</u>	1 株当たり四半期純利益	<u>△61 円 08 銭</u>

(2) 1 頁「1. 平成 21 年 3 月 期 第 3 四 半 期 の 連 結 業 績 (2) 連 結 財 政 状 態」の 21 年 3 月 期 第 3 四 半 期 欄

【修正前】		【修正後】	
総資産	<u>7,841 百万円</u>	総資産	<u>7,827 百万円</u>
純資産	<u>5,257 百万円</u>	純資産	<u>5,243 百万円</u>
1 株当たり純資産	<u>679 円 13 銭</u>	1 株当たり純資産	<u>677 円 33 銭</u>

(3) 2 頁「定性的情報・財務諸表等 1. 連結経営成績に関する定性的情報」

【修正前】
 この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 3,148 百万円(前年同期比 13.9%減)、営業損失60 百万円(前年同期は営業利益 50 百万円)、経常損失104 百万円(前年同期は経常利益 19 百万円)、四半期純損失460 百万円(前年同期は四半期純利益 11 百万円)となりました。

【修正後】

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 3,148 百万円(前年同期比 13.9%減)、営業損失74 百万円(前年同期は営業利益 50 百万円)、経常損失118 百万円(前年同期は経常利益 19 百万円)、四半期純損失474 百万円(前年同期は四半期純利益 11 百万円)となりました。

(4)3頁「定性的情報・財務諸表等 2. 連結財政状態に関する定性的情報」

【修正前】

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ737 百万円減少し7,841 百万円となりました。減少の主な要因は、たな卸資産の減少 441 百万円などです。

また純資産は、前連結会計年度末に比べ584 百万円減少し5,257 百万円となりました。減少の主な要因は、利益剰余金の減少538 百万円などです。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失396 百万円の計上、減価償却費 281 百万円、売上債権の減少額 186 百万円、たな卸資産の減少額 439 百万円、仕入債務の減少額 73 百万円などにより 417 百万円の収入となりました。

【修正後】

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ751 百万円減少し7,827 百万円となりました。減少の主な要因は、たな卸資産の減少 441 百万円などです。

また純資産は、前連結会計年度末に比べ598 百万円減少し5,243 百万円となりました。減少の主な要因は、利益剰余金の減少552 百万円などです。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失410 百万円の計上、減価償却費 281 百万円、売上債権の減少額 186 百万円、たな卸資産の減少額 439 百万円、仕入債務の減少額 73 百万円などにより 417 百万円の収入となりました。

(5)5頁「定性的情報・財務諸表等 5. 四半期連結財務諸表(1)四半期連結貸借対照表」の当第3四半期連結会計期間末欄

【修正前】

資産の部

流動資産

貸倒引当金	<u>△1,423 千円</u>
流動資産合計	<u>3,615,723 千円</u>
資産合計	<u>7,841,296 千円</u>

【修正後】

資産の部

流動資産

貸倒引当金	<u>△15,358 千円</u>
流動資産合計	<u>3,601,788 千円</u>
資産合計	<u>7,827,361 千円</u>

(6) 6頁「定性的情報・財務諸表等 5. 四半期連結財務諸表(1)四半期連結貸借対照表」の当第3四半期連結会計期間末欄

【修正前】		【修正後】	
純資産の部		純資産の部	
株主資本		株主資本	
利益剰余金	<u>3,293,336 千円</u>	利益剰余金	<u>3,279,401 千円</u>
株主資本合計	<u>5,105,672 千円</u>	株主資本合計	<u>5,091,737 千円</u>
純資産合計	<u>5,257,357 千円</u>	純資産合計	<u>5,243,422 千円</u>
負債純資産合計	<u>7,841,296 千円</u>	負債純資産合計	<u>7,827,361 千円</u>

(7) 7頁「定性的情報・財務諸表等 5. 四半期連結財務諸表(2)四半期連結損益計算書」の当第3四半期連結累計期間末欄

【修正前】		【修正後】	
		貸倒引当金繰入額	<u>14,005 千円</u>
販売費及び一般管理費合計	<u>684,628 千円</u>	販売費及び一般管理費合計	<u>698,562 千円</u>
営業損失	<u>△60,612 千円</u>	営業損失	<u>△74,547 千円</u>
経常損失	<u>△104,285 千円</u>	経常損失	<u>△118,220 千円</u>
税金等調整前四半期純損失	<u>△396,477 千円</u>	税金等調整前四半期純損失	<u>△410,412 千円</u>
四半期純損失	<u>△460,438 千円</u>	四半期純損失	<u>△474,372 千円</u>

(8) 8頁「定性的情報・財務諸表等 5. 四半期連結財務諸表(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書」の当第3四半期連結累計期間

【修正前】		【修正後】	
営業活動によるキャッシュ・フロー		営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	<u>△396,477 千円</u>	税金等調整前四半期純損失	<u>△410,412 千円</u>
貸倒引当金の増減額	<u>64 千円</u>	貸倒引当金の増減額	<u>13,999 千円</u>

(9) 10頁「定性的情報・財務諸表等 (5)セグメント情報 所在地別セグメント情報」の当第3四半期連結累計期間の営業利益又は営業損失欄

【修正前】		【修正後】	
日本	<u>△173,814 千円</u>	日本	<u>△187,748 千円</u>
計	<u>△101,979 千円</u>	計	<u>△115,914 千円</u>
連結	<u>△60,612 千円</u>	連結	<u>△74,547 千円</u>

以 上

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 テクノクオーツ
 コード番号 5217 URL <http://www.techno-q.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千葉 喜夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡本 克巳
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-5354-8171

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,148	—	△74	—	△118	—	△474	—
20年3月期第3四半期	3,658	1.5	50	696.6	19	—	11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△61.08	—
20年3月期第3四半期	1.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,827	5,243	67.0	677.33
20年3月期	8,578	5,841	68.0	749.08

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,257百万円 20年3月期 5,841百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,708	△24.7	△175	—	△257	—	△665	—	△85.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 7,800,000株 20年3月期 7,800,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 58,800株 20年3月期 1,800株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 7,765,733株 20年3月期第3四半期 7,798,200株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の修正内容は、平成21年2月9日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。